==========
［北海道］　　H26.7.31
・゜・*:.。..。.:*・゜゜・*:.。..。.:*・゜＊　Andante　＊*・゜゜・*:.。..。.:*・゜・*:.。　Vol.061
～北海道の自殺対策について～

Hokkaido Government　　発行：北海道地域自殺予防情報センター
（北海道立精神保健福祉センター内）

==========
****
※『Andante：アンダンテ』とは
音楽用語で「ゆっくりと歩くくらいの速さで」という意味があります。他者に合わせるのではなく、「自分なりのペースで歩いていきましょう」という意味が込められています。
北海道地域自殺予防情報センターでは、皆さんと共に歩いていけるような「Andante」を配信していきたいと考えています。
****
－　目　次　－
【1】 北海道における自殺の現状
◇　平成 26 年 6 月末の自殺者数(暫定値)[警察庁発表]
◇　平成 26 年 1 月～6 月の自殺者数(暫定値)[警察庁発表]
【2】 自殺について知ろう
◇　本の紹介『生き心地の良い町』(岡　檀　著)
【3】 お知らせ
◇　2011 年以降に自殺した児童生徒約 500 人について実態調査（毎日新聞記事より）
◇　摂食障害　いのちと地域をつなぐ全国事業（NABA）
◇　こころの電話相談
◇　HP 及び携帯 HP をご覧ください
【4】 編集後記
****
【1】北海道における自殺の現状

◇平成 26 年 6 月末の自殺者数(暫定値)[警察庁発表]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
警察庁より平成 26 年 6 月末の月別自殺者数の暫定値が発表されました。
平成 26 年 6 月の北海道の自殺者数は 100 人でした。また、全国の自殺者数は 2,048 人、そのうち男性は 1,381 人、女性は 667 人でした。
以下に、北海道および全国の前月比と前年同月比の自殺者数を示します。

1.平成 26 年 6 月末と平成 26 年 5 月末の月別自殺者数の比較 (単位: 人)

－－－

H26 年 6 月＜北海道 100 人、全国 2,048 人、全国(男性) 1,381 人、全国(女性) 667 人＞

H26 年 5 月＜北海道 83 人、全国 2,256 人、全国(男性) 1,564 人、全国(女性) 692 人＞

先 月 比＜北海道 +17 人、全国 - 208 人、全国(男性) - 183 人、全国(女性) - 25 人＞

－－－

平成 26 年 6 月の自殺者数は、前月比では北海道において増加、全国・全国男性・全国女性において減少しました。また、都道府県別では、自殺者数が増加したのは 15、減少したのは 30、変化なしは 2 でした。

2. 平成 26 年 6 月末と平成 25 年 6 月末の月別自殺者数の比較 (単位: 人)

－－－

H26 年 6 月＜北海道 100 人、全国 2,048 人、全国(男性) 1,381 人、全国(女性) 667 人＞

H25 年 6 月＜北海道 108 人、全国 2,318 人、全国(男性) 1,575 人、全国(女性) 743 人＞

前 年 比 ＜北海道 - 8 人、全国 - 270 人、全国(男性) - 194 人、全国(女性) - 76 人＞

－－－

前年同月比では、北海道・全国・全国男性・全国女性において減少しました。また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは 9、減少したのは 35、増減なしは 3 でした。

◇平成 26 年 1 月～6 月の自殺者数(暫定値)[警察庁発表]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

警察庁による平成 26 年 1 月～6 月の自殺者数（暫定値）が公表されました。
以下に、北海道および全国の前年同期比の自殺者数を示します。

1. 平成 26 年 1 月～6 月と平成 25 年 1 月～6 月の自殺者数の比較 (単位: 人)

－－－

H26 年 1～6 月＜北海道 564、全国 12,752、全国(男性) 8,792、全国(女性) 3,960＞

H25 年 1～6 月＜北海道 628、全国 14,338、全国(男性) 9,990、全国(女性) 4,348＞

前 年 同 期 比＜北海道-64、全国 -1,586、全国(男性) -1,198、全国(女性) -388＞

－－－

平成 26 年 1 月～6 月の全国の自殺者数は 12,752 人で、前年同期の 14,338 人と比べて 1,586 人（11.1％）減少しました。15,000 人を下回るのは平成 24 年から続いて 3 年連続です。男女別で見ると男性は 1,198 人、女性は 388 人減少しました。

北海道の自殺者数は 564 人で前年同期の 628 人と比べて 64 人（10.2％）の減少でした。

都道府県別では、自殺者数が最も多いのは東京都の 1,283 人で、愛知県が 735 人、神奈川県が 725 人と続きます。北海道は 8 位でした。
前年同期との差では、大阪府の自殺者数が 664 人で前年の 851 人から 187 人減り、東京都が 1,413 人から 1,283 人になり 130 人減です。北海道の 64 人減は 8 位でした。
都道府県別の増減では増加が 6、減少は 41 となりました。
今年前期の減少は昨年よりも大きく、ペースが変わらなければ全国では年間 25,000 人、北海道では年間 1,200 人前後となります。

****
【2】自殺対策について知ろう

◇本の紹介『生き心地の良い町』(岡　檀　著)◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
今回は、岡檀氏著作の『生き心地の良い町－この自殺率の低さには理由がある－』をご紹介したいと思います。

タイトル:『生き心地の良い町-この自殺率の低さには理由がある』
著者:岡　檀(おか　まゆみ)
発行日:2013 年 7 月 22 日
発行所:株式会社講談社

この本は、当時、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科修士課程に在籍中の学生であった岡檀氏が徳島県海部町でのフィールドワークと日本の地理的・量的分析によって突き止めた「自殺予防因子」についてまとめた著作です。実際の研究の流れを追いながら、著者のその時の感情や心情を交えて、体験談形式で描かれています。そのため堅苦しい所はなく、非常に読みやすく、示唆に富んだ一作となっています。また、巻末には、「調査と分析の流れ」として、研究の要旨がまとめてあり、学術的な流れも追いやすくなっています。
今では数多く存在する自殺関連の書籍の中でも、自殺の増加原因ではなく自殺の減少原因を調査したという点で稀有です。多くの研究は、自殺の多発地域を調査し、多発する原因を検討します。しかし、岡氏は従来の研究の流れとは違い、自殺率が特別に低い徳島県海部町に注目し、その原因・理由を検討しました。そして、他の町とは違う海部町ならではの特徴を、コミュニティのあり方・町民の思考パターン・地形など多角的な視点から、自殺率低下につながる重要な知見として考察されています。

本稿では、岡氏が数ある日本の自治体の中から海部町に注目した理由を、「自殺の危険因子」・「自殺の予防因子」について説明しながらご紹介します。
「自殺の危険因子」とは、自殺の危険を高める要素を指しており、世界保健機関(WHO)は、社会経済的地位の低さ、失業、支援の欠如、精神疾患、病苦などを挙げています。対して自殺予防因子は、自殺行動を予防する要素、自殺の危険を緩和する要素で、WHO では家族との関係、個人

の素質や人柄、社会文化的背景の 3 つに分類しています。しかし、自殺予防因子に関する研究は世界的に見ても進んでおりません。というのも、起きていない事、つまり自殺するという“結果”が生じていないことの研究はとても困難であるためです。
岡氏は、ある新聞記事から海部町のことを知り、本当に自殺率が低いのか全国の自治体の自殺率、標準化死亡比を調査し、比較検討しました。その結果、徳島県の近隣町村と比べて、海部町の自殺率は特段に低く、全国の中でも 8 番目、島を除くと最も自殺率の低い町であることを突き止めました。そして、自殺率が低いのは、他と比べて自殺危険因子が少ないためであるのかについて検討しています。岡氏は、日本人の自殺の動機で最も多い「病苦・健康問題」、次いで「生活苦・経済問題」に焦点を当て、海部町と両隣の 2 町を対象としてそれぞれの比較を行いました。その結果、海部町を含む 3 町は、同程度自殺危険因子を内包していることがわかりました。つまり、海部町の自殺率が低いのは、他と比べて自殺危険因子が少ないためではなく、自殺予防因子の働きによるものである可能性が高いということが分かりました。そして、岡氏は自殺予防因子について検討するため、海部町の現地調査へと赴きました。

現地調査の内容や得られた自殺予防因子に関わる重要な知見については次号の Andante にてご紹介させて頂きます。

****

【3】お知らせ

◇ 2011 年以降に自殺した児童生徒約 500 人について実態調査（毎日新聞記事より）
文部科学省は 6 月 19 日、国公私立の小中高校、特別支援学校の児童生徒約 500 人について実態調査結果を初めて公表しました。
学校的背景では、受験失敗などの「進路問題」が最多で 12%。不登校 10%、友人関係 8%、学業不振 7%と続き、体罰など「教職員の指導」は 3%、「いじめ」は 2%でした。また、家庭的背景は、保護者との不和 10%、保護者の離婚 7%、経済的困難 5%となっていました。個人的背景では、精神科治療歴があったケースが 14%で最多でした。
背景に進路問題を挙げたケースが多かったものの、経済的困難で将来を悲観した自殺が 5%と、いじめ（2%）より多く、分析した専門家は「貧困問題も影を落としている」と、予防対策の必要性を強調しました。
記事 URL：http://mainichi.jp/select/news/20140620k0000m040060000c.html

◇ 摂食障害いのちと地域をつなぐ全国事業
NABA（日本アノレキシア≪拒食症≫・ブリミア≪過食症≫協会、1987 年に発足した摂食障害の自助グループ）は、様々な分野の団体が連携した支援ネットワークを形成することを目指し、摂食障害や依存症などに取り組む病院や中間支援施設、NPO、自助グループと連携し、全国 5 か所でセミナーを行います。
北海道での月日・会場は下記に、その他の詳細については次号にてご連絡いたします。

月　日：平成 26 年 9 月 21 日（日）
会　場：札幌市民ホール（札幌市中央区北 1 条西 1 丁目）

◇　精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で受け付けています。
月曜から金曜日　　9:00～21:00
土曜日曜祝日（12 月 29 日～1 月 3 日を除く）　　10:00～16:00
Tel：0570-064-556
※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇　HP・携帯版 HP をご覧ください
北海道地域自殺予防情報センターの HP を開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。
パソコン HP　URL：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm

また、携帯電話で見ることができる携帯版 HP も開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。
携帯 HP　URL：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm

****
【4】編集後記
蝦夷梅雨と言われる北海道の短い雨季も過ぎさり、ここ数日は全国的にも猛暑日が続いております。
5 月頃に、「今年の夏はエルニーニョ現象で冷夏になる」と予報されましたが、今の様子を見ていると本当かな？と疑問符がつきます。
皆様も熱中症、夏バテに気をつけて今夏を乗りきってください。

いつもご愛読ありがとうございます。
次号 Vol.62 は、2014 年 8 月末に配信予定です。

＊お問い合わせ先＊
北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号
Tel 011-864-7121
Fax 011-864-9546
URL　http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/
Mail　hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp